

公益財団法人 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団

代表理事 松村 孝夫

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1丁目8番4号 大阪科学技術センタービル607号室

TEL:06-7506-9068 FAX:06-7506-9069

ホームページ <https://www.krf.or.jp> E-mail info@krf.or.jp

目次

P1. 第35回理事会を開催

P2. 2024年度助成対象一覧

P5. 財団役員、評議員、選考委員

P6. KRFからのお知らせ

1 第35回理事会を開催

2024年12月5日、第35回理事会を開催し、審議のうえ、研究助成の助成対象と、2025年度助成事業計画を以下のとおり決定しました。

研究助成の助成対象を決定

2024年度研究助成には、36件の応募を頂戴しました。

選考委員会における選考を経て、理事会での審議の結果、2024年度の助成対象として、17件、助成金総額1,629万円を決定しました。

エネルギー・リサイクル分野は、排熱等の流体工学の技術開発、ペロブスカイト太陽電池等電池材料に関する技術開発、光・振動・熱等のエネルギー変換・貯蔵技術開発、各種デバイス開発の効率向上等、15件(1,435万円)です。

総合防災科学分野は、断層への応力解析応用研究、VR災害対策システムの製作の2件(194万円)です。

今回決定した研究助成と、既に決定している国際交流活動助成他を合わせた、2024年度の助成事業は、助成総数36件、助成金総額2,037万8千円となります(応募総数は82件)。財団設立以降33年間の助成金総額は、約10億7,702万円となります。

今回決定した研究助成対象の17件の皆さまに対し、2025年3月4日(火)に第33回助成金贈呈式を開催いたします。

2025年度助成事業計画を決定

2025年度の助成事業は、①研究助成、②国際交流活動助成(研究者海外渡航、海外研究者招聘)、③研究成果の出版助成、④研究発表会等の開催助成の4分野で行います。

助成規模は、助成件数 38件、助成金総額 2,000万円です。

応募資格に年齢制限は設けません。ただし、若手研究者(概ね40歳以下)および研究歴の短い研究者(概ね研究歴10年未満)を主要助成対象として実施します。

新型コロナウイルスが流行する可能性等を考慮し、国際交流活動助成(研究者海外渡航)および研究発表会等の開催助成では、2025年度も、オンラインで開催する国際会議等を助成対象とします。

なお、今年度から、②国際交流活動助成(研究者海外渡航)の1件当りの助成額を、渡航先により、欧州、北米(ハワイを除く)、中南米は30万円以下、左記以外の渡航先は20万円以下に変更しています(従来は一律20万円以下)。

お申込みは、電子申請システムをご利用ください。

詳しい助成内容、応募要領等は、本誌6ページおよび財団ホームページをご覧ください。

(<https://www.krf.or.jp>)

2 2024年度助成対象一覧

2024年度の助成総計は、36件、20,378千円です。

1. エネルギー・リサイクル分野(31件:17,688千円)

(1) 研究助成(15件:14,350千円)

(単位:千円)

研究者	研究題目	助成額
Au Ka Man 京都大学 大学院エネルギー科学研究科 エネルギー社会・環境科学専攻 准教授	室内空気汚染の緩和を目的とした可視光応答型MOF光触媒コーティングの開発	1,000
浦 康之 奈良女子大学 研究院 自然科学系化学領域 教授	鉄触媒および酸素を用いたリグニンの環境調和型酸化的分解反応の開発	940
栗本 遼 神戸大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 助教	微細粒子及び界面活性剤液中気泡流の物質輸送に関する研究	940
小林 裕一郎 大阪大学 大学院理学研究科 高分子科学専攻 助教	硫黄ポリマーの室温合成法の開発と逐次重合硫黄ポリマープラットフォームの構築	940
鈴木 航 兵庫県立大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 助教	固体材料におけるポルフィリンの光物性制御と機能開拓	940
高山 聡志 大阪公立大学 大学院工学研究科 電気電子系専攻 講師	説明可能なAIを統合した深層強化学習によるエネルギー貯蔵システムの最適運用	940
土井 俊哉 京都大学 大学院エネルギー科学研究科 エネルギー応用科学専攻 教授	イオンビーム援用による新規電池材料LiFeO ₂ の開発と新開発指針構築	950
浪花 晋平 京都大学 大学院工学研究科 分子工学専攻 助教	固体表面で起こる界面電荷移動を利用した含窒素複素芳香族アルコールの選択光酸化	1,000
西嶋 政樹 和歌山工業高等専門学校 総合教育科 講師	可視光励起一重項酸素による環境調和型ラジカル触媒アルコール酸化	940
濱田 俊之 大阪電気通信大学 工学部 電気電子工学科 准教授	ペロブスカイト太陽電池のシャントスポットによる熱暴走の再現と対策法の検討	1,000
松本 浩一 近畿大学 理工学部 理学科化学コース 准教授	有機薄膜太陽電池に利用するBODIPY誘導体の創製	940
南 政孝 近畿大学 理工学部 電気電子通信工学科 准教授	Cockcroft-Walton回路におけるデバイス依存性を考慮した制御系設計	940

(単位:千円)

研究者	研究題目	助成額
村上 賢 神戸大学 大学院理学研究科 化学専攻 特命助教	プロペラ型立体有機ホウ素化合物の合成と水素分子活性化反応の開発	940
山置 佑大 京都大学 エネルギー理工学研究所 助教	酸化酵素を用いたリグニン分解における膜分離バイオリアクターの活用	940
渡邊 智昭 京都大学 大学院工学研究科 機械理工学専攻 准教授	LNGプラントにおける排熱拡散制御による高効率プラント運用	1,000

(2) 第2回国際交流活動[研究者海外渡航]の助成(4件:800千円)

(単位:千円)

研究者	渡航目的	渡航先	助成額
吉成 信人 大阪大学 大学院理学研究科 化学専攻 教授	金属-有機カルボン酸の開発と水系全固体カリウム電池への応用に関する研究発表	ペナン (マレーシア) および バンコク(タイ)	200
茂木 渉 京都大学 大学院エネルギー科学研究科 エネルギー基礎科学専攻 博士後期課程3年	電気化学分野の合同国際シンポジウムPRiME 2024の参加および研究発表	ホノルル (アメリカ)	200
大屋 正義 関西学院大学 工学部 電気電子応用工学課程 准教授	国際会議ICSM2025での招待講演の実施	フェティエ ・オルデニス (トルコ)	200
橋本 倫也 兵庫県立大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 博士後期課程3年	国際会議 PRiME 2024の参加および研究発表	ホノルル (アメリカ)	200

(3) 第2回研究成果の出版助成(2件:158千円)

(単位:千円)

研究者	投稿論文名	投稿出版本	助成額
元井 直樹 神戸大学 海事科学研究科 海事科学専攻 准教授	腱駆動機構を有するロボットハンドによる張力制御を考慮したバイラテラル制御	電気学会電子・情報・システム部門誌	88
呉 宇唯 京都大学 大学院エネルギー科学研究科 エネルギー基礎科学専攻 博士後期課程2年	擬似体液を用いた表面処理により早期に生体活性を発現するジルコニウム-50チタン合金の開発	International Journal of Molecular Sciences	70

(4) 第2回研究発表会等の開催助成(1件:400千円)

(単位:千円)

研究者	会議名称	助成額
大久保 雅章 大阪公立大学 大学院工学研究科 機械系専攻 教授	第17回国際電気集じん会議2024	400

※第1回国際交流活動等の助成対象は、KRFレポートNo.42(2024年4月)掲載のとおり、10件、2,200千円で助成金交付を決定しました。その後、国際交流活動助成[研究者海外渡航]で辞退1件、研究成果の出版助成で返金20千円があり、9件1,980千円になりました。

2. 総合防災科学分野(5件:2,690千円)

(1) 研究助成(2件:1,940千円)

(単位:千円)

研究者	研究題目	助成額
神谷 奈々 京都大学 大学院工学研究科 都市社会工学専攻 助教	岩石の異方性が3次元応力解析に与える影響の評価 -野島断層を例として-	1,000
田中 一品 京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系 准教授	浸水シミュレーションに基づくVR豪雨災害体験システムの 開発	940

(2) 第2回研究発表会等の開催助成(2件:550千円)

(単位:千円)

研究者	会議名称	助成額
神原 咲子 神戸市看護大学 看護学部 基盤看護学 教授	第8回世界災害看護学会国際研究集会	400
岡田 夏美 京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター 特任助教	交流シンポジウム「減災のための科学とコミュニケーション」	150

※第1回国際交流活動等の助成対象(1件、200千円)は、KRFレポートNo.42(2024年4月)掲載のとおり

□過去の助成実績

年度	研究助成		国際交流活動助成		研究成果の出版助成		研究発表会等の開催助成	
	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野
1992年度～ 2014年度	380	121	294	28	40	1	134	20
2015年度	21	4	16	2	休止	休止	休止	休止
2016年度	18	4	11	0	1	0	5	1
2017年度	18	2	5	0	1	0	2	0
2018年度	16	1	11	2	1	0	7	0
2019年度	15	4	9	3	0	1	5	1
2020年度	19	3	0	0	1	0	1	0
2021年度	16	4	1	0	5	1	1	1
2022年度	16	1	6	2	3	3	3	1
2023年度	16	1	10	2	2	2	3	0
2024年度	15	2	9	1	4	0	3	2
合計	550件	147件	372件	40件	58件	8件	164件	26件

※総合防災科学分野は、1995年度から助成開始

3 財団役員、評議員、選考委員(2025年1月1日現在)

■代表理事

松村 孝夫 関西電力株式会社 顧問

■業務執行理事

枚田 哲郎 当財団 事務局長 ※

■理事

伊藤 順司 住友電気工業株式会社 顧問・シニアフェロー

大澤 靖治 京都大学 名誉教授

辻 毅一郎 大阪大学 名誉教授

手塚 哲央 京都大学 名誉教授

富岡 洋光 一般財団法人 大阪科学技術センター 専務理事

■監事

川下 清 弁護士

中西 清 公認会計士

■評議員

高西 一光 関西電力株式会社 執行役常務

武内 敬 大阪ガス株式会社 顧問

田中 博文 三菱電機株式会社 開発本部 Principal Expert

西 亨 株式会社阪南コーポレーション 顧問

浜田誠一郎 関西電力株式会社イノベーション推進本部副本部長

鱧谷 貴 公益財団法人 大阪コミュニティ財団 専務理事

光枝 良 株式会社竹中工務店 専務執行役員

■選考委員

【エネルギー・リサイクル分野】

馬場 章夫 大阪大学 名誉教授(委員長)

石原 慶一 京都大学 名誉教授

小川 真人 神戸大学 名誉教授

富山 明男 神戸大学 名誉教授

馬場口 登 大阪大学 名誉教授

森井 孝 京都大学 名誉教授

【総合防災科学分野】

馬場 章夫 大阪大学 名誉教授(委員長)

林 春男 京都大学 名誉教授

(敬称略、※は常勤者)

KRFからのお知らせ

2025年度 助成事業の概要

KRFでは、主として関西地域におけるエネルギー・リサイクル関係技術分野および総合防災科学分野に関する研究活動に対する助成を行っています。

2025年度の助成事業募集内容(1月6日募集開始)は下表の通りです。

助成規模は、助成件数 38件、助成金総額 20,000千円です。

応募資格に年齢制限はありません[ただし、若手研究者(概ね40歳以下)および研究歴の短い研究者(概ね研究歴10年未満)を主要助成対象とします]。

引き続き、国際交流活動助成(研究者海外渡航)および研究発表会等の開催助成では、オンラインで開催する国際会議等についても助成対象とします。

なお、今年度から、国際交流活動助成(研究者海外渡航)の1件当りの助成額を、渡航先により、欧州、北米(ハワイを除く)、中南米は30万円以下、左記以外の渡航先は20万円以下に変更しています。皆さまからの多数のご応募をお待ちしております。

■ 助成種類毎の助成件数

助成種類	研究助成	国際交流活動助成		研究成果の出版助成	研究発表会等の開催助成
		研究者海外渡航	海外研究者招聘		
1件当りの助成額	100万円以下	欧州、北米(ハワイを除く)、 中南米は30万円以下、 上記以外は20万円以下	50万円以下	10万円以下	40万円以下
助成件数	エネルギー・リサイクル分野	6件	2件	7件	4件
	総合防災科学分野	3件		3件	
申込締切日	2025年8月31日(日)	第1回:2025年2月28日(金) 第2回:2025年7月31日(木)			

■ 詳細はホームページをご覧ください。 <https://www.krf.or.jp>

■ 申込方法

- 応募要領はホームページからダウンロードできます。
- ホームページより、研究者登録のうえ応募書類をダウンロードし、申請書に必要事項を記入の上、電子申請にてお申込みください(推奨)。ただし、推薦状(研究助成・国際交流活動助成[研究者海外渡航])は、電子申請とは別に、紙面による提出(郵送)も必要です。
- 書面での提出をご希望の方は、申請書1部を財団事務局まで、締切日必着にてご送付願います。

■ 申請書の送付先、お問い合わせは事務局まで

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号 大阪科学技術センタービル607号室
公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 事務局
<https://www.krf.or.jp> e-mail:info@krf.or.jp
TEL 06-7506-9068 FAX 06-7506-9069

■ 事務局より

2024年度も、多くの研究者の皆さまからご応募を頂き、助成活動を実施することができました。心より御礼申し上げます。

2025年度助成事業は、1月6日(月)から募集を開始します。多数のご応募をお待ちしております。ご不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。

今年度より、国際交流活動助成(研究者海外渡航)の1件当りの助成額を、一部渡航先について、増額します。

今後も、研究者の皆さまのニーズにお応えすると共に、よりお役に立てる助成活動を目指します。